

## 東日本大震災支援 「宮城・福島救援物資お届け行動」に行つて来ました。

5月10～12日まで共産党長野市議団（7人）に同行して宮城県石巻市、福島県南相馬市へ救援物資のお届け行動に参加しました。

今後の震災対策のためにも被災地を見ておきたいとの一念から、共産党県委員会に頼み込んでの参加となりました。

10日の朝5時に救援物資を積み込んだ2トトラックとワゴン車（6人乗り）各1台で長野市を出発、上越・磐越廻りで午後1時半頃石巻市に着きました。石巻市の共産党事務所が支援センターの事務所で、物資を降ろしたのち、市委員長さんの案内で市内の被災状況を視察しました。

石巻港の周辺は津波により丈夫な構造物以外は全て破壊し尽くされて跡かたもありません（写真1）。津波もろとも多くの人命が石巻湾に押し流されてしまったのです。ご冥福を祈るのみです。福島釣りの好きの友人は太平洋での海釣りはやる気になれないので止めたと言っていました。



写真1 石巻港周辺の市街地荒涼とした被災地に翻る鯉のぼりは石巻市民の心意気を表しています。

10日の夜は支援センターの2階に持参したシラフで雑魚寝しました。

11日は救援物資を軽トラックに積み込み1階浸水家屋世帯に2回お届けしました（写真2）。石巻市では1階浸水家屋世帯が広範囲にあり、この世帯に救援物資が届いていません。



写真2 目的地でシートを拡げ救援物資を並べている様子。

ハンドマイクでお知らせすると1回50人程度の方が訪れて物資を持って行つてくれ喜ばれました。避難所は救援物資で溢れており、処分している所もあるそうです。浸水世帯への対応に宮城県の役割が見えてこないそうです。

11日の午後3時頃、福島市に向かい、その日福島市の民宿に泊まりました。12日は共産党福島県委員会福島原発被害の説明を受け、人影が少ない計画的避難区域の飯館村を通り、南相馬市の八沢小学校に救援物資をお届け、同校を視察しました（写真3）。



写真3 原発から20～30kmの警戒区域の小学校を受け入れ、廊下まで仕切りを付け教室に使っている南相馬市八沢小学校の様子。

福島原発は深刻な被害をもたらしています。東電・国の責任で早期に解決させねばなりません。浜岡原発の廃炉、原発の総点検、エネルギー政策の転換を求めてゆきます。午後5時頃福島市を出て、深夜に長野市に着きました。

総務福祉委員会の副委員長に就任することになりました。

5月6日、臨時町議会が開かれ、私は総務福祉委員会副委員長に就任しました。

委員会は議案や請願を本会議の議決に先立ち審査する重要な任務があります。総務福祉委員会の範囲は町の総務課、住民課、保育課、福祉課、会計課に関することです。

6月町議会が6月9日から17日まで開催されます。

一般質問は6月14・15日に行われます。私は震災対策、情報公開に基づく町民参加の町づくりなどを予定しています。ご意見をお寄せいただければ幸いです。

### 行動日誌

- 5月
1. 大北労連メーデー参加（大町）  
大北議員団会議
  5. ガイドマスター会観光案内
  6. 臨時町議会
  - 9.-12. 東日本大震災支援 宮城・福島訪問
  13. 春の交通安全運動指導会（松川）
  14. 三丁目自治会総会出席
  15. 国保改善運動交流集会（松本）
  17. 大北議員団会議